

この度はラーテルワークス製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全にご使用いただくために、下記説明をよく読んでからご使用ください。
また、読み終わったあとも大切に保管してください。ご不明な点や製品に不具合が確認された場合は直ちに使用を中止し、弊社までお問い合わせください。

セット品 ※はじめに、必ず不足がないかご確認ください。

フロントポール（黒）×1	フライシート	ルーフプロテクタ	グランドシート	インナーテント	コンプレッションベルト ×2	ポール収納袋 ×1	収納袋 ×1
アーチポール（赤）×1							
アーチポール（灰）×1							
オーバーハングポール（紫）×2	リッジポール（黒）×1	脱着式フロント インナースカート	ガイロープ×6 （オリジナル自在付き）	鍛造ペグ 25cm×16	デ이지ーチェーン×1	ハンマー ×1	ツールバッグ ×1

注意事項 ※ご使用前によく読み、予測される事故を回避して安全にご使用ください。

警告 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

- **ご使用前に必ず取扱説明書を読み、一度組み立ててください。**
キャンプにでかける前に、取扱説明書通り付属品に不足がないか確認し、必ず一度組み立ててください。
まれに縫製上の不備や付属品の不足により、テントが建てられない場合があります。テントを収納する時は、付属品の数量を確認してください。
- **テントの近くや内部では火気を絶対に使用しないでください。**
テントの防水加工生地は、熱に弱く、燃えやすくなっています。火気を使用した場合、テントが燃えたり、ヤケドなどの原因となります。
テント内部の照明はバッテリー式ランタンや懐中電灯を使用してください。
- **テントを使用する際は、定期的に換気をしてください。**
通気性が悪くなり、最悪の場合は酸欠により死に至る可能性があります。
また、外気温との差が10℃前後になると結露が発生する可能性があります。定期的な換気を行うことで結露の低減につながります。
- **小さなお子様のご使用になる場合、保護者の方はお子様から目を離さないでください。**
小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業はさせないでください。日中テントの中は高温になる場合があります。
熱中症になる可能性があるため大変危険です。

警告 怪我や本体破損、物品破損として拡大被害の原因となる行為を示します。

- **テントは必ず2人以上で組み立ててください。**
1人で組み立てると、フライシートやポールに無理な力がかかりやすく、テントが破損する場合があります。
- **設営収納作業には十分注意し、必ず手袋を着用してください。**
設営・収納作業時には、テントポールのストッパー部分やペグ固定時にハンマーなどで手や指を挟んだりする可能性がありますので、作業中は、必ず軍手等を着用し、怪我や事故のないように十分注意しながら作業を行ってください。
- **設営場所は、石や小枝などをあらかじめ取り除いて整地してから設営してください。**
テントが破損する恐れがあります。
- **フライシートに鳥の糞や樹液がたれそうな場所での設営は避けてください。**
鳥の糞によりフライシートに穴が開いてしまう可能性がございます。また、樹液が付着してしまうときれいに落とすことはできません。
- **ポールを扱う場合には、周囲に十分気を配りながら、事故やケガなどないよう設営してください。**
ポールは細く長いため、周囲にいる人（特に子供）の目に刺さったり、車などをキズつける可能性があります。
また、ポールが折れた際応急処置として、速やかに添え木をあて、ビニールテープなどで固定をするか、撤収してください。
- **ペグやガイロープでしっかりと地面に固定してご使用ください。**
風でテントが飛ばされたり、屋根部に雨水が溜まってテントがつぶれる危険があります。テントが吹き飛ばされた場合、人や車、他のテントなどに当たって大きな損害になる可能性があります。ペグは全数きちんと打ってください。また、補強用ガイロープは全数きちんと張ってください。撤収時には、必ずペグを全数抜き取り、数量をチェックしてください。テントは、ペグで固定する前、またはペグを抜いた時、急な突風で飛ばされることがあります。テントが飛ばされないよう、手を放さないでください。ペグを打つ前に、補強用のガイロープをあらかじめ仮止めておく方法もあります。また、撤収時であれば、最後に補強用ガイロープを抜けば飛ばされません。
- **本製品のいずれかの部品に異常が見受けられたり、異常を感じた場合は直ちに使用を中止してください。**
異常があるまま使用すると、思わぬ事故につながる可能性があるため大変危険です。
- **ペグを柔らかい土地や、河原など石の多い場所など使用しないでください。**
ペグは芝生や乾いた土の地面に適しています。砂浜や水気の多い柔らかい地面、また河川などの石の多い土地には不向きです。
キャンプ場内であっても使用しないでください。
- **台風、暴風雨、落雷などの危険な状況下で組み立てや設営をしないでください。**
強風の場合、テントをしっかり固定しても、潰れたり吹き飛ばされてしまう可能性があります。
- **海外で使用される場合は、事前に弊社までご相談ください。**
本製品は、日本国内での使用を前提としております。海外で使用し、事故などによりケガや損害が生じた場合、十分な対応ができません。
事前にご連絡をいただかない場合、保証はできませんのでご注意ください。
- **『取扱説明書』をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**
ここには安全上に関する重大な注意事項を示しています。
製品を安全に正しくご使用いただき、危害や損害を未然に防止する為に必ず守ってください。
- **ポールを収納する際は中央から端へ折りたたんでください。**
端から折りたたむと、内部のショックコード（ゴム）が傷みやすくなります。
- **組み立て時や折りたたみ時には、本製品に無理な力を加えないでください。**
パーツの破損の原因となる場合があります。また、破損したパーツで怪我をしてしまう可能性があるため大変危険です。
- **台風や、落雷の時には、キャンプ場の管理担当者の指示に従い、安全な場所に避難してください。**
悪天候が予想される状況下で、キャンプを強行する事は非常に危険です。また、悪天候の時には、テント内は安全な場所ではありません。
台風など強風が吹いている場合には、テントをどんなにしっかりと固定しても、つぶれたり吹き飛ばされたりする可能性があります。
また、テントに落雷する可能性もあり危険です。なお、キャンプ場内の避難場所は、必ず事前に確認してください。
- **テントを無人の状態で長時間、放置しないでください。**
急な天候の変化等により、テントがつぶれたり、飛ばされる可能性があります。
テントを置いて避難する場合はテントを倒して、飛ばされないよう重りを乗せるなどしてください。
- **就寝時や、強風時、雨天時の対応。**
夜間、急に天候が変わることがあります。そのため、強風でテントが飛ばされたり、雨水がテント上部に溜まりテントがつぶれる危険があります。
必ず雨溜まり回避ループなどを使用し、対策してください。
- **ペグを無理に打ち込まないでください。**
地面の状態によりペグを打ち込む際、破損する可能性があります。あらかじめ地面の状態を確認してからペグを打ち込んでください。
また、ハンマーをペグに対してまっすぐに打ちこまなかった場合、ペグが曲がる可能性があります。
破損の可能性を考慮しペグ、ガイロープ、は必ず予備をご用意ください。
- **テントがたるまないよう、付属のペグ、ガイロープをすべて使用してください。**
テント生地がたるんでいる状態では、雨天時、天井などに溜まった雨水でテントがつぶれたり、風の力が余計にかかって飛ばされる原因になることがあります。ペグは根本まで地面に打ち込み、ガイロープは強いテンション（張力）を保つようにしてください。

本製品に関するご留意事項

- <対応シーズンについて>
本製品は3シーズン（春・夏・秋）対応です。降雪や氷点下の環境には適していません。ジッパーが凍結する低温下や降雪時にはご使用をお控えください。
- <折りジワについて>
本製品のテント、シェルター、タープに使用している化学繊維には、折りジワが発生する場合があります。これは製品の性能に影響を与えませんので、あらかじめご了承ください。
- <撥水性能について>
生地表面には撥水加工を施しておりますが、使用の頻度や条件により、撥水性能が徐々に低下し、雨が染み込む場合がございます。
なお、裏面の防水性能には影響ありませんので、引き続きご使用いただけます。撥水性能の長期維持はできかねますことをご了承ください。
- <フロント拡張パネルのファスナーについて>
フロント拡張パネルのファスナーには防水性能はございません。雨天時や結露が多い場合、ファスナーから水が滴る可能性がございますので十分にご注意ください。
- <シームテープの変色について>
シームテープは使用とともに変色することがございますが、製品性能に影響ありませんので、安心してご使用ください。

メンテナンス / 保管方法

- 使用後は、必ず完全に乾燥させてから保管してください。湿気が残ったまま長期間保管すると、生地裏面のポリウレタン加工が水分により分解・剥離するおそれがあります。
また、特にシームテープ部分には水気が溜まりやすいため、タオル等でしっかり拭き取ってから保管ください。シームテープの剥がれや防水性の低下、カビの発生、悪臭、色移り、生地の劣化を招く原因となります。
- 生地の乾燥は生地同士が触れ合わないようにして、通気性の良い場所で行ってください。
- フライシートの汚れを落とす場合は、水で洗い流すか、乾燥した状態でブラシなどで払い落としてください。汚れのひどい場合には中性洗剤を水で薄め、汚れた部分をスポンジなどで軽くこすった後、水で洗い流してください。ただし、強い酸性の洗剤を使用したり、強くこすったりすると、生地外側の撥水加工（テフロン加工を含む）が極端に低下しますので、ご注意ください。
- 生地の表面を洗う時には、裏面の防水コーティング面を傷つけないように注意してください。洗濯機で洗濯したり地面にこすりつけたりと、ポリウレタンコーティング面に傷がつくことがあります。
また、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。コーティング剤が溶ける恐れがあります。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備がございましたら弊社までご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理を行わせていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証・修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

1. 取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
2. 素材の経年劣化による製品の寿命。
3. 改造及び粗雑な扱いによる故障。
4. 不測の事故による製品の故障。
5. その他製品上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやサビによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生・破損。
8. 落下やその他の衝撃による変形・破損による不具合。
9. 消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。

修理について

1. 修理依頼は、破損時のご状況、修理箇所の詳細（破れサイズ等）がわかる写真と、お問合せフォームのチェックシートに修理箇所がはっきりと解るように、印をつけて添付の上、「info@ratelworks.jp」までメールでお問い合わせください。
2. 弊社にて修理内容を確認し、お見積もりいたします。お客様のご了承をいただいた後、修理を開始致します。
3. 修理品を郵送する場合は汚れを綺麗に落とし、必ず十分に乾燥させてください。
4. 修理が必要な製品のみ発送してください。
5. 修理品の運賃並びに修理費については下記の規定とさせていただきます。

- ※保証対象の場合：往復の運賃・修理費は弊社が負担いたします。
- ※保証対象以外の場合：往復運賃・修理費はお客様の負担とさせていただきます。
- ※製品修理を行う場合、新品に戻るわけではないため、縫製や修正箇所が目立つ場合がございます。予めご了承ください。
- ※修理に要する時間は、破損状況、修理難易度、混雑具合によって前後いたします。予めご了承ください。



不明な点やお気づきの点がございましたら、弊社までお問い合わせください。

株式会社丸栄
info@ratelworks.jp
MADE IN CHINA

設営方法

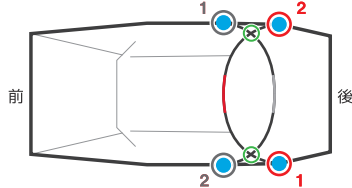


◀◀◀ 設営を行う前に左の QR コードから、ラーテルワークス公式チャンネルの設営動画を取扱説明書と合わせてご覧ください。

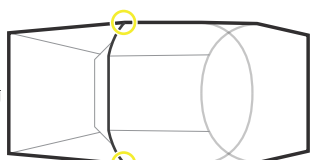
設営手順

1 フライシートを広げ、アーチポール(灰)アーチポール(赤)のセッティング

※アーチポール(灰)に対して、アーチポール(赤)が上側を通過します。

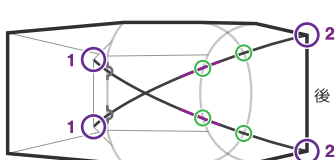


2 フロントポール(黒)のセッティング

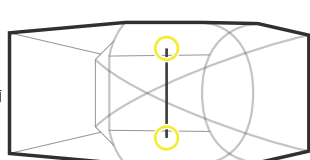


3 オーバーハングポール(紫)のセッティング

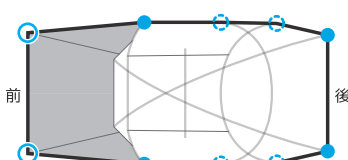
※アーチポール(赤)に対して、オーバーハングポール(紫)が上側を通過します。



4 リッジポール(黒)のセッティング



5 テントの固定、フロントパネルのペグダウン



1 フライシートの展開とアーチポール(灰・赤)のセッティング

- フライシートすべてのジッパーが必ず閉まっていることを確認し、平らな場所を選んで、整地を行ってからフライシートを広げてください。
- フライシートを地面に広げ、灰色のスリーブにアーチポール(灰)を通し、灰○1位置にあるグロメットにアーチポール(灰)の先端を挿し込みます。
- 赤色のスリーブにアーチポール(赤)を通し、赤○1位置にあるグロメットにアーチポール(赤)の先端を挿し込みます。
- それぞれのアーチポール(灰・赤)をグロメットに挿し込んでいない側から押し上げ、灰○2・赤○2位置にあるグロメットに、それぞれのアーチポール(灰・赤)の先端を挿し込み自立させます。
- アーチポール(灰・赤)2本の交点(緑○位置)を巻留めテープで固定します。
- フライシートに付いているボールフックをアーチポール(灰・赤)に全て嵌め込みます。
- テントの向き、位置を確定したら、フライシートの青●位置にあるループをペグダウンします。

※この後の設営手順でフロントポールを自立させやすくなります。



2 フロントポール(黒)のセッティング

- 黒色のスリーブにフロントポール(黒)を通し、黄○位置にあるグロメットにフロントポール(黒)を挿し込みます。
- フライシートに付いているボールフックをフロントポール(黒)に全て嵌め込みます。
- フロントポールを前方に傾けたまま自立させます。

※この後の設営手順でオーバーハングポールがスリーブに通しやすくなります。

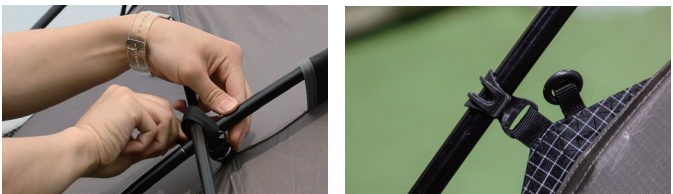


3 オーバーハングポール(紫)のセッティング

- オーバーハングポール(紫)2本を、紫色のスリーブにそれぞれ通していきます。
- 紫色のスリーブを通したそれぞれのオーバーハングポール(紫)を、前方スリーブ出口付近のループに通します。
- ループに通したそれぞれのオーバーハングポール(紫)の先端を、前方ひさし先端の紫○1位置にあるアジャスター付きグロメットに差し込みます。その後、アジャスターを最後まで引き絞ります。
- 後方、地面に接するフライシートの紫○2位置にあるアジャスター付きグロメットにオーバーハングポール(紫)の先端を挿し込みます。



- アーチポール(灰・赤)とオーバーハングポール(紫)の交点(緑○位置)を巻留めテープで固定します。
- フライシートに付いているボールフックをオーバーハングポール(紫)に全て嵌め込みます。



4 リッジポール(黒)のセッティング

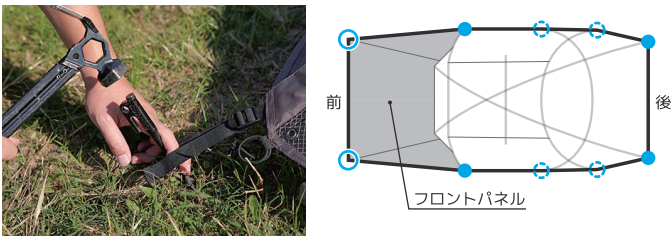
- リッジポール(黒)を黄○位置にあるグロメットに挿し込みます。その後、アジャスターを最後まで引き絞ります。
- フライシートに付いているボールフックをリッジポールに全て嵌め込みます。



5 テントの固定、フロントパネルのペグダウン

- 全てのポールのセッティングが完了したら、フライシートの青●位置にあるループをペグダウンします。※青●位置にあるループは設営手順1でペグダウン済み。
- フロントパネルの青○位置にあるループをペグダウンします。

※フライシートの張り具合を確認しながら行ってください。



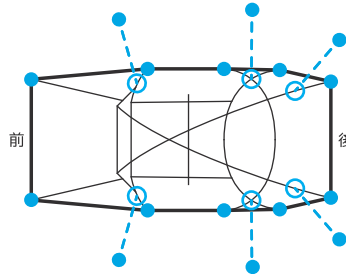
6 耐風ループと巻留めリングのペグダウン

- 各ポイント青○位置(耐風ループとポール交差点の巻留めテープ金属リング)にガイロープを結び、青●位置にペグダウンしてください。

※風の強弱にかかわらず、フライシートへの負荷を低減するため、必ずペグダウンしてください。

ペグダウン位置平面図

- ペグダウン位置
- ガイロープ
- 耐風ループ位置

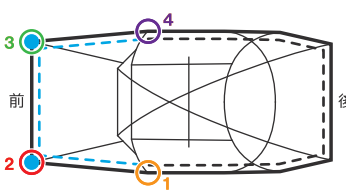


7 脱着式フロントインナースカートの取り付け

- 橙○1位置にあるインナースカート先端の面ファスナーに、着脱式フロントインナースカートを取り付け。
- 赤○2位置と緑○3位置にあるフロントパネルのペグダウンで用いたペグに、着脱式フロントインナースカートのループを引っ掛けます。
- 紫○4位置にあるインナースカート先端の面ファスナーに、着脱式フロントインナースカートを取り付け。
- フライシートのトグルを着脱式フロントインナースカートのループに全て取り付けます。

着脱式フロントインナースカート取り付け位置平面図

- インナースカート
- 着脱式フロントインナースカート
- ペグダウン位置



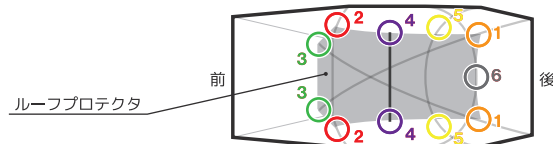
8 インナーテントの取り付け

- 地面にグランドシートを敷き、その上にインナーテントを広げます。
- インナーテント中央頂点のフックをフライシート頂点のリングにひっかけ、中央から順にフックを掛けます。
- インナーテント 6カ所のバックルをフライシートに嵌め込みます。



9 ルーフプロテクタの取り付け

- 後方橙○1位置にあるフライシートのリングに、ルーフプロテクタのフックをオーバーハングポール(紫)に一周巻きつけてから引っ掛けます。
- ルーフプロテクタをフライシート前方に被せていきます。前方側面の赤○2位置にあるフライシートのリングに、ルーフプロテクタのフックをフロントポール(黒)に一周巻きつけて引っ掛けます。
- 前方の緑○3位置にあるオーバーハングポール(紫)先端に、ルーフプロテクタ先端のアジャスター付きグロメットを嵌め込みます。その後、アジャスターを最後まで引き絞ります。
- 中央側面の紫○4位置にあるリッジポール先端に、ルーフプロテクタ先端のアジャスター付きグロメットを嵌め込みます。その後、アジャスターを最後まで引き絞ります。
- 後方側面の黄○5位置にあるフライシートのリングに、ルーフプロテクタのフックをアーチポール(赤)に一周巻きつけて引っ掛けます。
- 後方の灰○6位置にあるアーチポール(灰)に面ファスナーを巻きつける。



10 パネルアレンジ例

ファスナーに防水性能はございません。雨天時や結露が多い場合、ファスナーから水が滴る可能性がありますので十分にご注意ください。

